

進路情報提供

中間考査が終わり、2週間が経ちます。結果はどうだったのでしょうか。3年生にとっては、就職や進学に直接影響する大事な考査だったのですが、残念ながら欠点をとってしまった生徒もいたようです。1・2年生も、常に自己の将来のことを意識して、今から努力しないとイケません。有意義な毎日を送れるよう、日々の計画をしっかりと立ててください。さて、今号のテーマは、企業訪問の報告です。

企業訪問報告

5月9日（月）～5月13日（金）の間、進路指導部で企業訪問に行ってきました。

- 5/9（月）：三菱重工長崎造船所 大島造船所
- 5/10（火）：トヨタ自動車株式会社 マツダ株式会社 福島病院（大阪）
- 5/11（水）：ダイハツ株式会社 シンダイ株式会社 名古屋市医師会
- 5/12（木）：マルキョウ株式会社
- 5/13（金）：有限会社杉永蒲鉾

上記の企業を訪問したなかで、重要視されていることを挙げてみました。

1. 職種理解

残念ながら、入社してまもなく自分の希望と職種内容がマッチせず退職してしまう生徒がいます。その子にとってはもちろん不幸ですが、奈留高校の後輩の採用にも大きな影響を与えます。企業によっては、「職種の理解不足などで退職した卒業生がいる高校には、今後求人を出すことを控える」といった企業もありました。奈留高校から推薦されて入社するので、卒業後も「奈留高校」という看板を背負っているのだという強い気持ち、誇りを持つことが大切です。ただ、「給料がいいから」や「大企業の華やかなイメージ」だけで、受験企業を決めることはお薦めできません。こういった仕事をするのかきちんと調べて応募することがミスマッチを防ぐことになります。

2. コミュニケーション力

もの作りは、決して一人ではできません。チームで協力して一つのものを作りあげるという姿勢がとても大切です。その中で、企業は「この人と一緒に働きたい」という生徒を採用します。したがって、なぜこの仕事に就きたいのか、他の企業ではダメなのかははっきりさせないと

いけません。たとえばトヨタ自動車に就職したいと思っているとき、なぜマツダではダメなのか。デンソーではないのかなど、その会社でなぜ働きたいのかを明確にすることが大切です。就職希望者は、1・2年生のうちから将来の自分についてしっかりと考えておかないといけません。もちろん、明るさ・元気よさ・ハキハキした挨拶なども大事な要素です。生徒の皆さんは、保護者や家族、地域の方々、先生方に大きな声で挨拶を交わしていますか？

3. 学力

やはり高校三年間の評定平均値を重視する企業が相当数あります。たかが5段階の数字ですが、企業は受験生が「高校時代にどれだけ努力したか。」を見たいと言っていました。合格者の評定平均値が平均4.2という企業もありました。先ほど、中間考査のところでも書きましたが、今回欠点をとってしまった人は、同じ失敗をしないように、何が悪かったのかきちんと反省をして次に臨まないといけません。

4. 高校時代の出席状況

18歳で就職したら、通常は定年まで働き続けます。やはり体力・精神力が必要です。その中で、高校在学中にどれだけ欠席があるのか、遅刻・早退があるのかが見られます。もちろん、入院などの正当な理由の場合は仕方ありません。専門学校などへ進学する場合も出欠状況が加味されます。なかには「欠席が5日以上あると推薦不可」という専門学校もあります。3年間、皆勤で過ごせるように日ごろの体調管理にも気をつけましょう。

以上、4つのこと、特に1、2つ目が特に重要視されるようです。しかし決して難しいことではなく、当り前のことを当り前にすることが大切だということです。日頃から意識して取り組みましょう。



進路の質問にお答えします！

進路に関する質問があれば、下の質問事項に記入し、切り取って進路指導部、担任まで渡してください。みなさんからの質問、待ってます。

.....切り取り線.....

<質問事項>

()年()組()番 生徒氏名()

※質問には、次の「進路だより」などで、必ずお答えします。